

平成18年9月中間期 会社説明資料

平成18年11月



GOYOINTEX

五洋インテックス株式会社

(ジャスダック・7519)

会社のプロフィール

平成18年11月

商号 五洋インテックス株式会社

本社 愛知県小牧市小木五丁目411番地

代表者 代表取締役社長 大脇 功嗣

設立 昭和54年3月30日

資本金 656百万円

売上高 731百万円

従業員 68人

昭和54年3月	室内装飾用織物等の製造販売を目的として、愛知県一宮市せんい4丁目に五洋産業株式会社（資本金30,000千円）を設立し、「サザンクロス」ブランドのカーテンを販売する。
昭和54年6月	株式会社豊産業（現 株式会社イフ、現連結子会社）を設立する。
昭和58年3月	「インハウス」ブランドのカーテンを発表する。
昭和58年9月	「リサ」ブランドのカーテンを発表する。
昭和62年5月	業容の拡大に伴い愛知県小牧市大字三ツ淵字惣作1350番地に本店を移転する。
昭和63年1月	株式会社インハウスに資本参加し子会社とする。
平成4年4月	新社屋完成に伴い愛知県小牧市小木五丁目411番地に本店を移転する。
平成5年4月	五洋インテックス株式会社に商号変更し、株式会社インハウス（出資比率100%）を吸収合併する。
平成8年2月	株式会社イフ、小売業務を開始する。
平成8年10月	日本証券業協会に店頭登録する。
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、株式会社ジャスタック証券取引所に株式を上場する。

当社グループは、当社及び連結子会社 1 社で構成され、室内装飾品の販売を主な事業内容とし、カーテンを中心に販売を行っております。

<当社のブランド紹介>



IN HOUSE[®]
FABRICS & DESIGN

「インハウス」

ヨーロッパ発、最新のトレンド、デザイン、カラーを取り揃えた当社の代表的なブランド。

新たにハイクオリティコレクション「インハウス・ハイスピリット」を、「インハウス・オリジナル」「インハウス・プレーン」と共に展開。他にはないオリジナリティあふれる個性豊かなファブリクスが、ライフスタイルをグレードアップします。



「サザンクロス」

ヨーロッパの最新デザイン、色、技術を駆使した商品の中に、使いやすさを求めた防災商品と無地商品を多く展開したブランド。



Blownew[®]

「ブローニュ」

カーテンのファッション性を高めるアクセサリーブランド。

オリジナルデザインのタッセルやマクラメ、フレンジ等が、窓辺の装いを素敵に演出します。

平成18年9月中間期 決算概要



GOYO INTEX

五洋インテックス株式会社

(ジャスダック・7519)

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加により回復基調にあります。個人消費につきましては、所得面の緩やかな増加や雇用情勢の改善に広がりが見られることにより増加しておりますが、このところ伸びが鈍化しております。

当カーテン業界におきましては、住宅建設がおおむね横ばいとなっており、依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは7月にメインブランドの1つであります「インハウス」の見本帳改訂と同時に、天然素材を多く取り入れたワンランクアップの高級商品で編集する「インハウスハイスピリット」の新見本帳を発刊致しました。

しかしながら、営業面では首都圏を中心に売上比重の高い「インハウス」の見本帳改訂が1年遅れたことによる影響や、新築住宅の低価格化に伴うカーテン予算額の減少化等により売上高は大幅に減少致しました。

利益面におきましては、廃番商品の評価減、ユーロ高による仕入コスト増加等により大幅減益となりました。

販売費及び一般管理費では、見本帳発刊に伴う広告宣伝費が前年同中間期より23百万円増加したのをはじめ、全体では前年同中間期比で47百万円増の643百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同中間期比10.0%減の731百万円、経常損失は284百万円（前中間連結会計期間は115百万円の経常損失）、中間純損失は300百万円（前中間連結会計期間は120百万円の中間純損失）となりました。

損益計算書（連結）

（単位：百万円）	18年9月中間期	17年9月中間期	前期比率
売上高	731	812	△ 10.0%
売上原価	375	336	11.8%
一般管理費	643	596	8.0%
営業損失	288	119	—
営業外収益	5	5	△ 5.0%
営業外費用	1	1	△ 6.5%
経常損失	284	115	—
特別利益	7	1	479.1%
特別損失	17	1	1204.5%
中間純損失	300	120	—

（注）前期比率は円単位で計算して表示しております。

貸借対照表（連結）

（単位：百万円）	18年9月中間期	17年9月中間期	増減率
流動資産	923	1,161	△ 20.5%
固定資産	1,434	1,520	△ 5.7%
資産合計	2,358	2,682	△ 12.1%
流動負債	603	409	47.3%
固定負債	44	218	△ 79.8%
負債合計	647	627	3.1%
資本金	-	656	
資本剰余金	-	852	
利益剰余金	-	512	
その他有価証券評価差額金	-	33	
資本合計	-	2,054	
資本金	656		
資本剰余金	852		
利益剰余金	172		
自己株式	△0		
株主資本合計	1,680		
その他有価証券評価差額金	30		
評価・換算差額等合計	30		
純資産合計	1,710		

（注）

1. 増減率は円単位で計算して表示しております。
2. 当中間連結会計期間から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は1,710百万円です。中間連結財務諸表改正により、当中間連結会計期間における中間連結財務諸表は、改正後の中間連結財務諸表規則により作成しております。

キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）	18年9月中間期	17年9月中間期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 262	13	△ 276	売上債権の減少による増加額99百万円、棚卸資産の減少による増加額67百万円、減価償却費39百万円の収入、税金等調整前中間純損失294百万円、役員退職慰労引当金の減少額173百万円、仕入債務の減少額60百万円。
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 31	△ 46	15	有価証券の売却による収入4百万円、有形固定資産の取得による支出33百万円。
財務活動による キャッシュ・フロー	229	△ 20	250	短期借入金の収入275百万円、短期借入金の返済による支出25百万円、配当金の支払額20百万円。
現金及び現金同等物の 増加額	△ 63	△ 52	△ 11	
現金及び現金同等物の 期首残高	345	483	△ 137	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	281	430	△ 148	

（注）比較増減は円単位で計算して表示しております。

商品別売上高

(単位：百万円)

セグメント	18年9月中間期		17年9月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	増減率
生地	232	31.7%	262	32.3%	△ 30	△ 11.7%
縫製品	386	52.8%	430	52.9%	△ 43	△ 10.1%
その他	112	15.5%	120	14.8%	△ 7	△ 6.0%
合計	731	100.0%	812	100.0%	—	—

平成19年3月期 業績予想



GOYO INTEX

五洋インテックス株式会社

(ジャスダック・7519)

業績予想（連結）

（単位：百万円）	19年3月期予想	18年3月期	増減率
売上高	1,850	1,735	6.6%
経常利益	△ 110	△ 135	△ 18.5%
当期純利益	△ 115	△ 140	△ 17.9%
EPS（円）	△ 28.44	△ 34.83	—
ROE（%）	△ 17.9%	△ 7.0%	—

（注）増減率は円単位で計算して表示しております。

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

原油価格の動向など国内外の経済状況において注意を必要とする要素もありますが、個人消費の緩やかな増加に伴い景気回復が続くと思われまます。

当社グループと致しましては、「インハウス」及び「インハウスハイスピリット」の発刊により首都圏を中心に巻き返しをはかるものの、中間期の落ち込みを回復するまでには厳しいと思われ、通期の業績予想は上記の見込みとなりました。

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

経営方針

当社の社是は「至誠」であり、「生活者の住空間を創造し社会に奉仕する」を社訓にしております。これを基本に常に本物を追求し、また、新しいインテリア文化を築くため、将来に向かって限りなく努力する所存でございます。

今期の取り組み

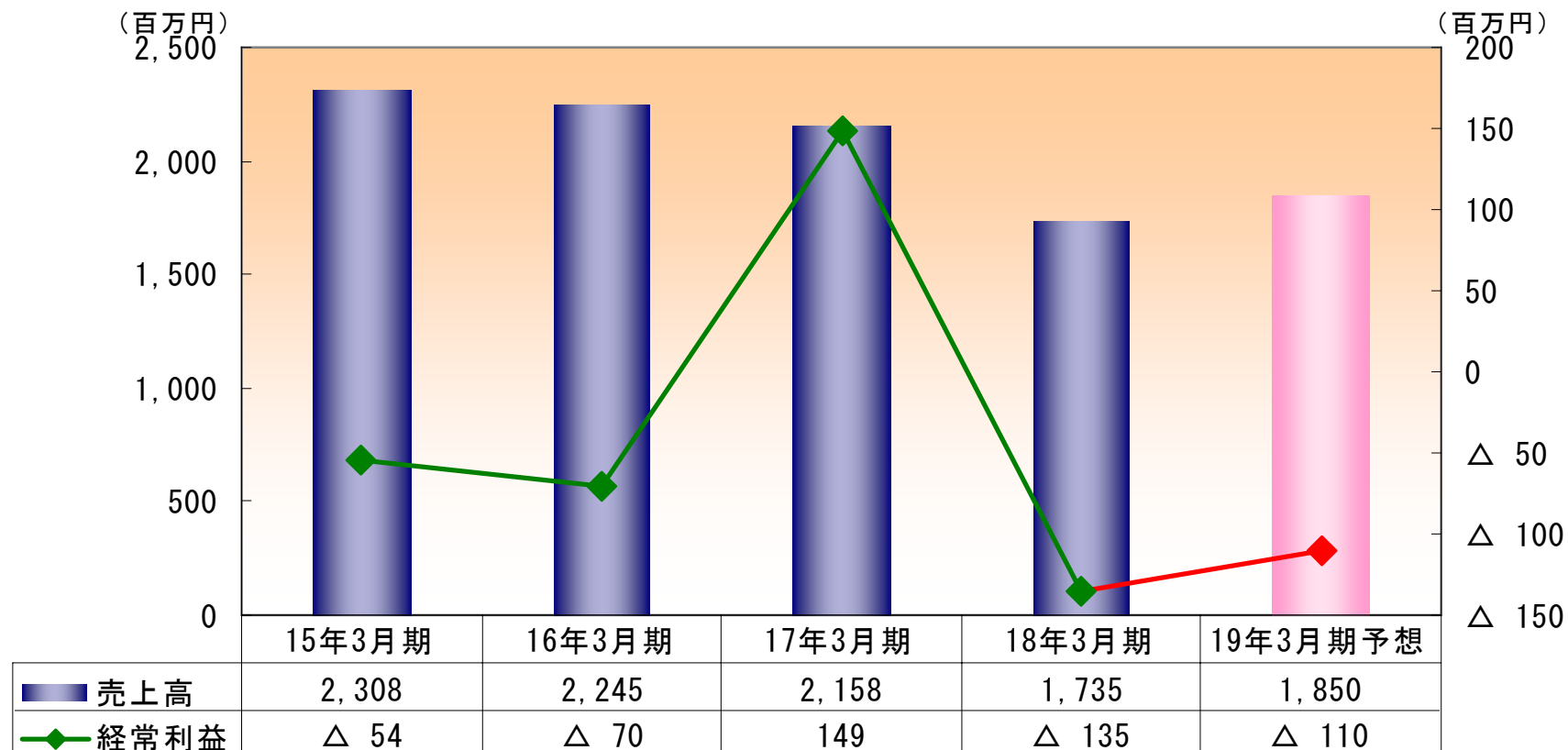
カーテン業界におきましては、住宅建設がおおむね横ばいとなっておりますが、新築住宅の低価格化により厳しい状況が予想されます。

当社グループと致しましては、大幅に減少いたしました収益の回復を最重要課題に掲げ、取り組んでまいります。

販売面におきましては、販売教育の強化を行うとともに、当社ブランド政策に即した顧客への販売強化に努めてまいります。

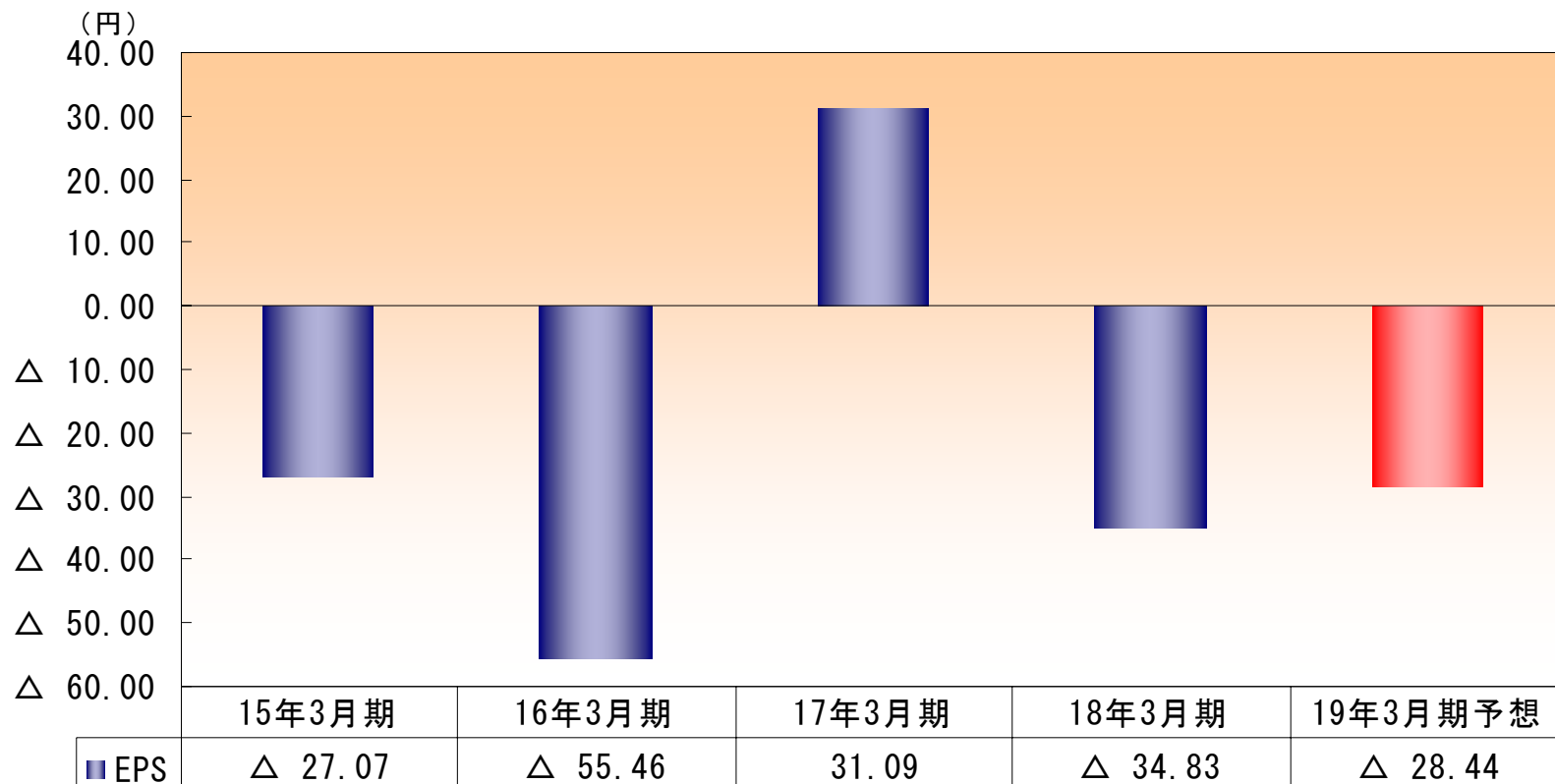
又、連結対象会社であります株式会社イフでは、常に新鮮なアイデアを取り入れたオリジナル商品を強化し、幅広い顧客の獲得に取り組んでまいります。

売上高・経常利益の推移（連結）



上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

EPSの推移（連結）



EPS=1株当たり当期純利益

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



GOYOINTEX

五洋インテックス株式会社 経営企画室

TEL : 0568-76-1050
E-mail : info@goyointex.co.jp